

# 注目のマルチチフエロイック物質

## 電子機能制御過程を可視化

### ―東北大、青学大、阪大などが世界初―

### 新しい素子の基礎原理を確立

東北大大学院理工学材料科学科相模教授、青学大工学部工学部助教授入道、大阪大工学部電子工学科の木村雅樹らは、新たな多層電子素子材料としてマルチチフエロイック物質を開発し、電子機能制御過程を可視化する世界で初めて成功した。これにより、電子機能制御可能な新しい素子材料を開発できることが実証された。また、この研究成果は、電子機能制御可能な新しい素子材料を開発できることが実証された。また、この研究成果は、電子機能制御可能な新しい素子材料を開発できることが実証された。

# イオンビーム育種を利用

## 新品種作出に成功 原子力機構が支援

知識を持つ技術支援員を配置し、新品種の開発に取り組み民間の団体や企業のユーザーに前倒しの技術支援を行ってきた。今回の技術支援を受けたことによる成果である。

原子力機構は、日本原子力研究開発機構「原子力機構」が開発したイオンビーム育種技術を用い、新品種の作出に成功、販売を開始した。

原子力機構では、東北科学者の先導的取り組みを促進する事業等による「明日を創り、暮らしを守る原子力」をテーマとした原子力利用支援事業において、原子力機構高橋量子応用研究所のイオン照射施設施設(T1IRA)などを駆使した先進的イオンビーム技術の産業分野への利用拡大を進めている。

# 水銀・ストロンチウム光格子時計



水銀・ストロンチウム光格子時計の測定装置。水銀原子とストロンチウム原子の両方を同時に測定する装置である。

## 科学技術総合

利用して、C-F結合の可視化を実現した。この研究成果は、電子機能制御可能な新しい素子材料を開発できることが実証された。

今回の研究成果は、電子機能制御可能な新しい素子材料を開発できることが実証された。

# 1匹の雌マウスから100個の卵子を排卵

超排卵誘起法を開発し、1匹の雌マウスから100個以上の卵子を排卵させることに成功した。これは、従来の超排卵誘起法よりも大幅に多くの卵子を採取できるという画期的な成果である。

## 超排卵誘起法を開発

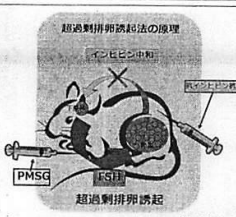
超排卵誘起法を開発し、1匹の雌マウスから100個以上の卵子を排卵させることに成功した。これは、従来の超排卵誘起法よりも大幅に多くの卵子を採取できるという画期的な成果である。

## 細胞体も一で分解

細胞体も一で分解する技術を開発し、細胞の構造を詳細に解析することに成功した。これは、従来の細胞解析技術よりも高精度な解析が可能であるという画期的な成果である。

## 新しい仕組み発見 東工大の研究グループ

新しい仕組みを発見し、細胞の構造を詳細に解析することに成功した。これは、従来の細胞解析技術よりも高精度な解析が可能であるという画期的な成果である。



超排卵誘起法の原理。超排卵誘起剤を注射することで、1匹の雌マウスから100個以上の卵子を排卵させることができる。

## 超排卵誘起法を開発

超排卵誘起法を開発し、1匹の雌マウスから100個以上の卵子を排卵させることに成功した。これは、従来の超排卵誘起法よりも大幅に多くの卵子を採取できるという画期的な成果である。

## 細胞体も一で分解

細胞体も一で分解する技術を開発し、細胞の構造を詳細に解析することに成功した。これは、従来の細胞解析技術よりも高精度な解析が可能であるという画期的な成果である。

## 超排卵誘起法を開発

超排卵誘起法を開発し、1匹の雌マウスから100個以上の卵子を排卵させることに成功した。これは、従来の超排卵誘起法よりも大幅に多くの卵子を採取できるという画期的な成果である。

## 超排卵誘起法を開発

超排卵誘起法を開発し、1匹の雌マウスから100個以上の卵子を排卵させることに成功した。これは、従来の超排卵誘起法よりも大幅に多くの卵子を採取できるという画期的な成果である。